地震調査研究推進本部地震調査委員会
第 278 回長期評価部会・第 99 回海溝型分科会（第二期）合同会
議事要旨（案）

１．日　時　　令和 7 年 6 月 2 日（月）13 時 30 分 ～ 16 時 00 分

２．場　所　　研究開発局会議室１及びウェブ会議のハイブリッド形式による開催

３．議　題　　（１）海溝型地震の長期評価について
（２）海域活断層の長期評価について
（３）その他

４．配付資料
（本資料）
長 278 海Ⅱ99(1)　第 277 回長期評価部会・第 98 回海溝型分科会（第二期）・第 9 回長期確率評価手法検討分科会（第二期）合同会議事要旨（案）
長 278 海Ⅱ99(2)　日本海中南部の海域活断層の長期評価（第一版）（案）

（参考資料）
参考資料 1-1　メーリングリスト[chouki]における議論
参考資料 1-2　メーリングリスト[kaikou]における議論
参考資料 2-1　南海トラフの地震活動の長期評価（第二版 一部改訂）（案）
参考資料 2-2　南海トラフの地震活動の長期評価（第二版 一部改訂）（案）（第二版との差分）
参考資料 2-3　南海トラフの地震活動の長期評価（第二版 一部改訂）（案）主文のみに対する意見と回答案
参考資料 2-4　ベイズ BPT 試算結果（ケースⅢおよびⅣ）
参考資料 2-5　1605 年慶長地震に関わる論文概要
参考資料 2-6　[調 413 参考資料 3-3]南海トラフ地震に関する長期評価の一部改訂について（現時点での取りまとめ：事務局資料）
参考資料 3-1　海域活断層評価手法等検討分科会の審議状況
参考資料 3-2　日本海中南部の海域活断層の長期評価（第一版）（案）（長期評価部会への照会（5.13）版からの変更履歴）
参考資料 3-3　日本海中南部の海域活断層の長期評価（第一版）のポイント（案）
参考資料 3-4　日本海中南部の海域活断層の長期評価（第一版）の概要（案）
参考資料 3-5　日本海中南部の海域活断層の長期評価（第一版）に対する意見と回答案
参考資料 3-6　日本海南西部及び日本海中南部を対象とした予測震度分布図（案）

５．出席者

（長期評価部会）

部会長	佐竹　健治	国立大学法人東京大学名誉教授
委員	飯沼　卓史	国立研究開発法人海洋研究開発機構 海域地震火山部門地震津波予測研究開発センター センター長代理
	伊藤　弘志	海上保安庁海洋情報部技術・国際課地震調査官
	岡村　行信	国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質調査総合センター活断層・火山研究部門名誉リサーチャー
	奥村　晃史	国立大学法人広島大学名誉教授
	加納　靖之	国立大学法人東京大学地震研究所准教授
	汐見　勝彦	国立研究開発法人防災科学技術研究所 巨大地変災害研究領域地震津波発生基礎研究部門長
	堤　　浩之	同志社大学理工学部環境システム学科教授
	西村　卓也	国立大学法人京都大学防災研究所教授
	藤原　広行	国立研究開発法人防災科学技術研究所研究主監 研究共創推進本部先進防災技術連携研究センター長兼務
	宮澤　理稔	国立大学法人京都大学防災研究所教授
	山崎　晴雄	首都大学東京（現 東京都立大学）名誉教授
	矢来　博司	国土地理院地理地殻活動研究センター長
	吉田　康宏	気象大学校准教授

（海溝型分科会（第二期））

主査	西村　卓也＊	国立大学法人京都大学防災研究所教授
委員	汐見　勝彦＊	国立研究開発法人防災科学技術研究所 巨大地変災害研究領域地震津波発生基礎研究部門長
	中尾　　茂	国立大学法人鹿児島大学学術研究院理工学域理学系教授
	日野　亮太	国立大学法人東北大学大学院理学研究科教授
	藤江　　剛	国立研究開発法人海洋研究開発機構 海域地震火山部門地震発生帯研究センター センター長
	宗包　浩志	国土地理院地理地殻活動研究センター地殻変動研究室長
	吉田　康宏＊	気象大学校准教授

＊長期評価部会兼任の委員

委員長	平田　　直	国立大学法人東京大学名誉教授

事務局	上野　　寛	文部科学省研究開発局地震火山防災研究課地震調査管理官
	髙木　　悠	文部科学省研究開発局地震火山防災研究課地震火山室調査官
	清水　淳平	気象庁地震火山部地震火山技術・調査課調査官
	岡　　岳宏	気象庁地震火山部管理課地震調査連絡係長
	仲井　博之	国土地理院測地観測センター地震調査官

塩谷　俊治　　国土地理院測地観測センター地殻監視課長補佐

６．議　事

（１）　第 277 回長期評価部会・第 98 回海溝型分科会（第二期）・第 9 回長期確率評価手法検討分科会（第二期）合同会議事要旨（案）を承認した。

（２）　南海トラフの地震活動の長期評価の一部改訂について、事務局から説明があり、議論した。

(以下、長期評価部会関連のみの議事)

（３）　日本海中南部の海域活断層の長期評価（第一版）の修正案について、事務局から説明があり、議論した。同案について、長期評価部会として承認した。